

V3_RPPMAN 基本設定

平成 21 年 11 月 23 日版

1) 薬剤服用歴管理料：

新規受付の時、個々の患者の [薬学管理] ボタンから設定するときには、チェックを外します。

2) 自立支援計算：

チェックのない場合は、医療機関で限度額に達したものと見なし、一部負担金の徴収を行わない計算となる。

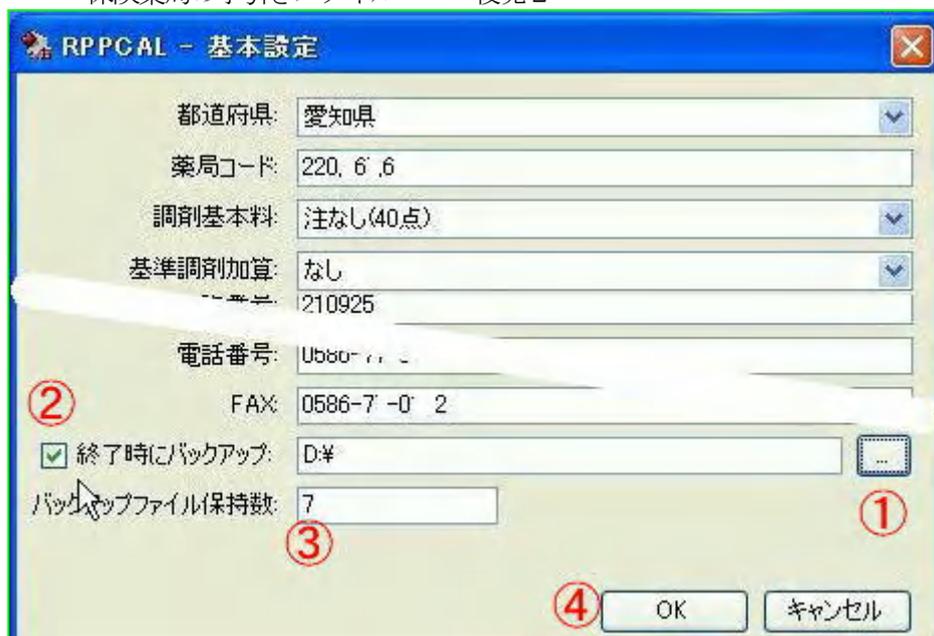
注) 電子レセプトの編集

1割負担において、限度額により一部負担金が1割未満になった時には電子レセプトの編集機能で修正をします。「電子レセプトの編集方法その2」参照。

3) 加算料印字：

紙レセ印刷した場合、加算料の印字様式の違いです。

- V2スタイル - 後2×1
- 保険薬局の手引きスタイル - 後発2



4) バックアップの設定

USB等にバックアップします。

手順

USB等メディアをセットします。USBメモリーを付けると下の図の窓が開きますので閉じます。

②のボタンをクリックします。次に①をクリック。

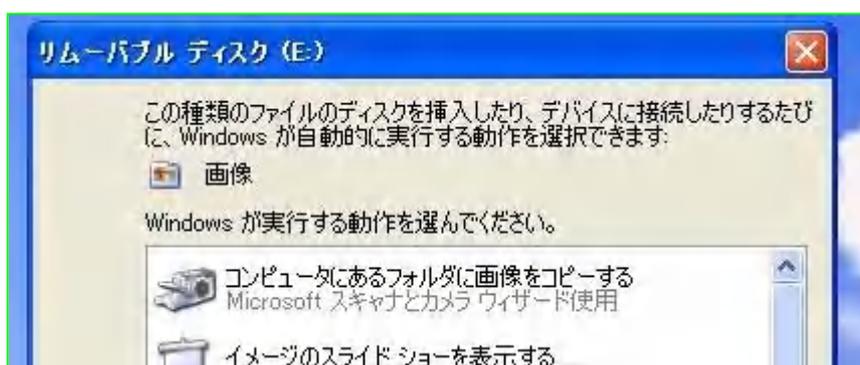
「フォルダーの参照」窓より、マイコンピュータ→リムーバブルディスクを選択し(下の図の①です)、[OK] ボタン → ③バックアップファイル保持数

(通常7でよい) → ④の [OK] ボタン

(セキュリティの観点より、自動再生を停止させたほうがよい。

○ Vista の場合

「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→または他のメディアの自動再生」



ここで「すべてのメディアとデバイスで自動再生を行う」からチェックを外し、各項目を「何もしない」に設定します)

※ 左の図はホルダの参照ウインドウ

V3_RPPMAN 処方せん編集

○ 基本的な操作について

項目選択の操作方法として、(**マ** : マウス操作、 **キ** : キーボード操作)

(1) **キ** : [↓] キーで選択後、エンターキーを押す。あるいは [受付一覧] 等、ファンクションキーに割り付けられた [F 1], [F 2] 等のファンクションキーを直接押します。

注) [ESC] キーは、ファンクションキーの [F 1 2] ([閉じる]、[戻る]) と同等の動作をします。

注) 薬品等、項目の削除には [DEL] キーも使えます。エンターキーで次の入力項目に移動します。

(2) **マ** : 名前等、項目をマウスでクリックする。又は、ファンクションキーに割り付けられたボタンをマウスでクリックします (③の行に表示されています)。

※**マ**、**キ** を、とりまぜてお使いになってもかまいません。

(1) 患者選択

(1-1) 検索窓に名前を入力します① (ひらがな、カタカナ、半角、大文字小文字のどれでもよい)

他の検索方法 : 生年月日 → H18 / 01 / 01 電話番号 → 0500-77-0123

※部分一致で検索できる。例 : 〇郎、〇子、電話であれば0123と部分入力可。

(1-2) 名前の選択から受付一覧 (調剤日の一覧) へ進む

キ ↓キーで名前を選択②、そして、エンターキーを押すか、あるいは [F 1] キーを押す。

マ マウスカーソルで氏名を選択後、[受付一覧] ボタン③をクリックします。

あるいは、氏名をダブルクリックします。

(2) 新規受付の場合

キ 氏名欄の「New Patient」④を選択し、エンターキーを押す。あるいは [F 5] キーを押す。

マ 氏名欄の「New Patient」④をWクリックするか、[新規患者] ボタン⑤をクリックします。

注) 生年月日の入力形式は

昭和20年1月1日 → s200101 表示は、S20 / 01 / 01 と自動的に / が入ります。

他の必要項目を入力します。後は割愛。

注) 特記事項

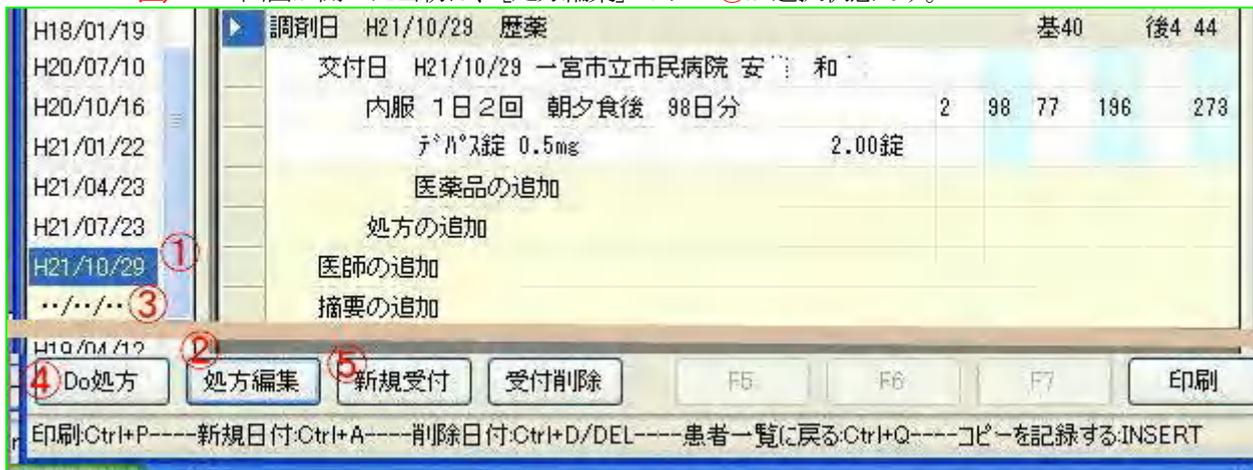
左図カーソル部をクリックすると一覧が表示されますので、該当の項目をクリックして選択します。

(3) 調剤日の一覧画面

D○処方する調剤日を選択、あるいは新規受付、受付削除、を選択します。

- D○処方→F1キーあるいは[Ins]キー(Insertキー)を押します。
新規受付→↓キーで[../../..]③を選択後、エンターキー、あるいはF3キーを押す。
- D○処方→[D○処方]ボタン④をクリック。
新規受付→[新規受付]ボタン⑤をクリック

注) この画面が開いた当初は、[処方編集]ボタン②が選択状態です。



(4) 処方編集画面

- 最終日の処方を編集する場合は、このままエンターキーを押す。あるいはF2キーを押す。
- 日付をWクリックする。あるいは、[受付編集]ボタン(上の図②)をクリックします。

(4-1) 調剤日の編集(下の図参照)

- ①を選択し、エンターキーを押す。 ①の調剤日行を2クリックします。

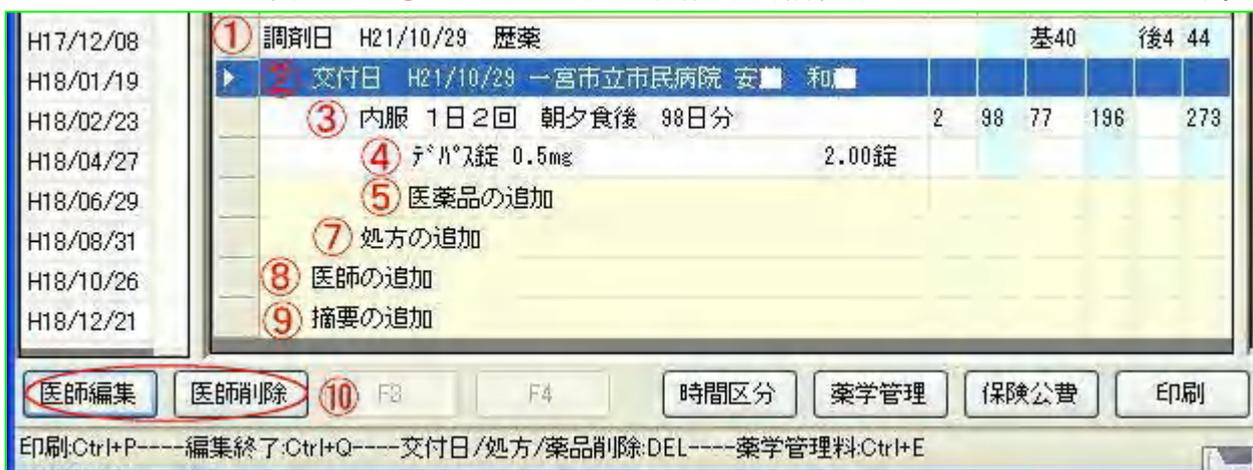
注) マウス操作では、行が選択状態であれば1クリックで編集窓が開く。他の項目も同様。

(4-2) 交付日、医師等の変更

- ②を選択し、エンターキーを押す。 ②の交付日行を2クリックします。以下、同様に操作。

注) ⑩の場所に、各行を選択したときの操作可能項目が表示されます。

下の図では、交付日行②が選択されたときの操作 医師編集と医師削除 が表示されています。



(4-3) 剤型、服用方法等の変更

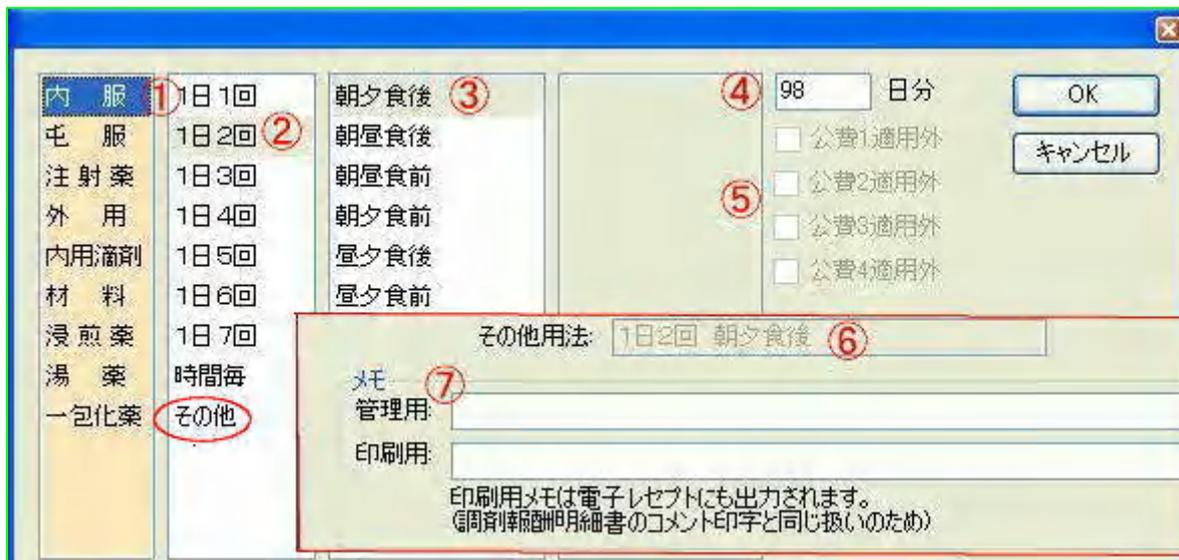
- ↓キーで剤型を選択しエンターキー、続いて服用回数、服用時等選択します。
続いて、投与日数→[OK]

- マウスで①②③と順にクリックして選択します。

○ 自家製剤加算と計量混合加算、嚥下困難者用製剤加算

[製剤編集] ボタンから該当の加算項目を選択します。

上の図の⑩の位置に [処方削除]、[製剤編集] と表示されています。



※⑦のメモ欄について

コメントにあるように、**管理用メモ**は来店時間とか、備忘録等、自由に記載できます。

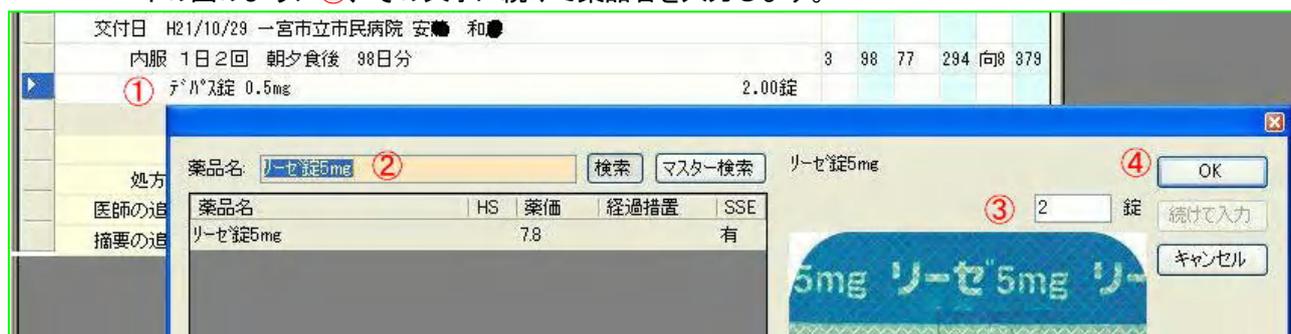
印刷用メモは、特別な服用方法とか、インシュリンの投与単位等、必要事項を記載します。

注 投与回数欄に「その他」の項目名があります。該当する項目のない時に、この項目を選択すると、「その他用法」欄に記入できます。外用、頓服等にも用意してあります。

(4-4) 医薬品の変更

薬品行の窓が開いた直後の状態では薬品名がリバースされて表示されます。

下の図のように②、その文字に続けて薬品名を入力します。

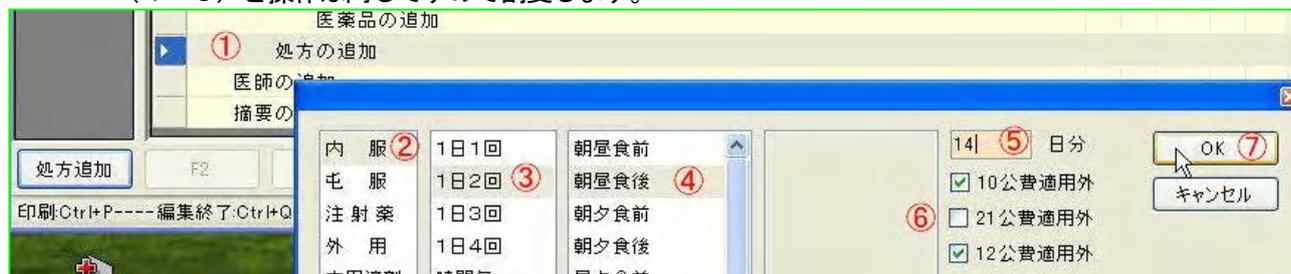


(4-5) 医薬品の追加

(4-4) の薬品入力窓が開きます。操作は同じですので割愛します。

(4-6) 処方追加

(4-3) と操作は同じですので割愛します。



(4-7) 医師の追加

医療機関、及び医師を選択します。その後、処方を入力します。

(4-2) 交付日、医師等の変更の項と同じです。

(4-8) 摘要の追加

時間区分の項目、時間外受付等では、日時、受付時間を必ず記載します。記載漏れの場合は警告マーク表示。電子レセでは警告文が表示されます。

次の項目(5)「[時間区分]の設定」で加算をつけた場合は、受付日時を記載する必要があります。

(5) [時間区分] の設定

この加算を選択した場合は、受付日付と時間を摘要欄に記載します。

(6) [薬学管理] の設定

(7) [保険公費] の編集

(7-1) 保険証の記号番号等、変更があった場合

[患者マスタに保存] ボタン①を押し、患者マスタを更新しておきます。

過去の記号番号に戻る場合は [患者マスタ・・・から読み込み] ボタン②をクリックします。新たに調剤日と保険番号のリストが表示されますので、該当する日付を選択してから読み込みます。

(8) [印刷] 選択画面

(8-1) はじめに、発行日付①を調剤日に変更します(上の図)。

システム：印刷した当日の日付が入ります。

ユーザー：任意の日付に変更して印刷できます。

処方日：処方せんの交付日に変更されます。必要に応じて選択します。

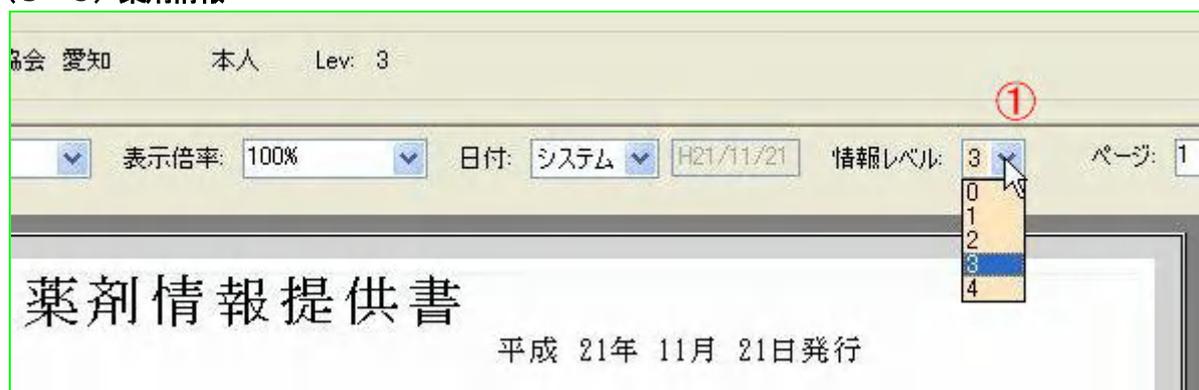
(8-2) ページ設定



余白を設定します。また、[プリンタの設定] より、文書毎にプリンタを選択することもできます。

注) 余白設定がすべて0になっている場合、調剤録の名前行が印刷されない機種があります。その場合には、上図のように余白の数値を変更します。

(8-3) 薬剤情報



情報レベルを変更する場合、①の [D] マークをクリックして「情報レベル」編集窓を開きます。続いて、情報レベルを選択します。

(8-4) 領収書

注意) 「領収書などの印刷の際に、(一時的に) 負担割合を変更する機能」について

これを使用した場合には以下ようになります。

- ・ 患者負担額の変化は電子レセプト、調剤報酬明細書に反映されません。
- ・ 単純に入力値を乗算するため、部分公費や「結核は薬学管理料の対象外」などは考慮されません。

負担割合を変更するには、

①の欄をクリックして負担割合を入力します。

(8)



種別: お薬手帳 書式: お薬手帳1 表示倍率: 100% 日付: 調剤日 H21/11/25

負担割合: % 配置: A6ブロック SSEあり

①

<p>[調剤日]平成 21年 11月 16日 [処方日]平成 21年 11月 16日 医療法人 育徳会 磯村医院 医師 磯 豊</p> <p>内服☆Aハッサ-Rカプセル100mg 2.00カプセル 狭心症・高血圧・不整脈の治療に用います。 1日2回 朝夕食後 14日</p> <p>内服☆H²ブロッカー錠10 1.00錠 血中のコレステロールや中性脂肪を下げます。</p> <p>内服☆H²ブロッカー錠5mg 1.00錠 冠血管を広げ、高血圧・狭心症の治療に用います。</p>	<p>便秘時使用 1回</p> <p>内服☆H²ブロッカー錠 0.5mg 1.00錠 不安、緊張、抑うつ、睡眠障害に用います。筋肉の緊張にも使用。</p> <p>不眠時使用 14回</p> <p>一宮市市千秋町穂塚本字宮西134-1 千秋薬局 青山和彦 TEL:0586-77-0182 FAX:0586-77-0182</p>
--	---

配置欄①は、A4用紙に“6ブロック印刷”と、“縦長に印刷”を選択できます。上記は前者の例です。

(8-6) 相互作用 省略

(8-7) 指導文書印刷

種別: 指導文書 書式: 指導文書1 表示倍率: 100% 日付: システム H21/11/25

情報レベル: ② SSEあり

②

患者さんへ指導文書

青 澄 様

平成 21年 11月 25日発行

ハッサ-Rカプセル100mg

[効 き め]冠血管や末梢血管を広げ心筋虚血の改善や血圧を下げる作用を示し
狭心症・高血圧・不整脈の治療に用います。

[副 作 用]徐脈、原因不明の発熱、関節痛、唇の荒れ・水疱、目充血、白目→
黄色はすぐ連絡下さい。動悸、めまい、頭痛、眠気、皮膚症状、消
化器症状、歯肉の腫れなど報告して下さい。

[注 意]起立性低血圧によるめまい・ふらふら感等が生じることがあります
ので、高い所での仕事や自動車の運転などには注意して下さい。

情報レベルは②、4段階に切り替えることができます。文書の印刷時に変更できますので、臨機応変に薬剤情報を提供できます。

(8-8) 薬歴印刷 省略

(8-9) 調剤録 省略

KAO